

硬質ウレタンボート 取扱い訓練実施

5月16日及び17日に、大衡村の牛野ダムにおいて、硬質ウレタンボート取扱い訓練が行われました。



このボートは、名取市の株式会社タガ・アート様と静岡県浜松市の浜口ウレタン株式会社様より1月23日に無償貸与されたもので、穴が開いても沈まず、通常のゴムボートが使えない場面においても使用することができます。

訓練では、入水想定場所まで車輪を使用した移動要領や船体入水、更には既存配備の組立式アルミボートやゴムボートと比較しての操船訓練が行われました。

これからの季節は、川、池での水難事故、台風、異常気象時の水害等が懸念される季節でもあります。不測の事態に備え、これからも訓練等により、より一層の水難救助技術の向上を図ってまいります。



ルールを守って楽しい花火



日本の夏の風物詩である「花火」。しかし、使用方法を誤ると火事やケガの元となります。次の6つのルールを守り、花火を楽しく遊びましょう！

④手持ちの筒花火は手の位置に注意！
手持ちの噴き出しものは、底を握らず、筒の中心より少し下を持ち、体から離して使用すると安全です。

①大人と一緒に遊びましょう！
子どもたちだけで遊ばず、大人が正しい遊び方、火の後始末を教えてあげましょう。

②必ず水を用意しましょう！
バケツに水を準備し、終わった花火はバケツに残り火を完全に消火する習慣を！

⑤花火を点火するときは、マッチやライターを使わないようにしましょう！
マッチやライターで点火し、やけどした事例が後を絶ちません。ローソクや点火用線香を使って点火しましょう。

③花火に書いてある使用方法をよく読んで必ず守るよう注意しましょう！
手持ち花火をふざけて人に向けたため服に着火してやけどしたり、ロケット花火が燃えやすい屋根に落ちたため火事になった事例があります。説明をよく読み正しく遊びましょう。

⑥燃えやすい物のない広い場所で、風向きに注意しながら遊びましょう！
遊ぶときは周りに燃えやすいものがないかを確認しましょう。また、風向きにも注意して、自分自身や風下の人に火の粉や煙がかからないよう気をつけましょう。風が強いときは花火遊びはやめましょう。

また、最近車や建物めがけてロケット花火を発射させる悪質ないたずらが多くなっているそうです。重大事故につながります。絶対にやってはけません！

